

学校法人朴沢学園 第Ⅱ期中期経営計画

(期間：2024年4月1日～2029年3月31日)

はじめに

明治 12 年、近代日本の草創期に、創始者は「創意工夫ある実学（人材育成）教育」を建学の精神として、本学園を立ち上げました。本学園は、私学教育において、県下随一の長い歴史と伝統を有しております。

時代変遷の中、空襲による校舎全焼、大学新設の際の定員未充足による経営危機、東日本大震災被災など、幾多の困難を乗り越え、現在の 18 歳人口の減少期の厳しい経営環境下、本学園は、今年度創立 145 周年を迎えます。今後も継続して多様な生徒・学生にきめ細やかな教育を行っていきます。

今後のさらなる学園の発展のために、今年度より 5 年間で本学園教育および組織の再創造期と位置づけ、現状の冷静な分析把握に取り組み、私学教育のフレームワークの見直しにチャレンジしていきます。

設置する大学と高校の 7 年間に亘る教育の一体化を図りつつ、教育をめぐる厳しい経営環境下での生き残りや教育再創造に向けた新たなモデル作りに取り組んでいきます。

今後 5 年間で取り組むべきことをこの中期経営計画に網羅し、教職員に周知し、全学園一体となって挑戦していきます。さらに、このような本学園の挑戦の取組状況をホームページ等で公開していくことで学園を取り巻く皆様のご理解を得ていきたいと考えております。

I 学園の社会的使命

今年、創立 145 周年を迎える当学園は、「創意工夫 実学尊重」を建学の精神とし実学教育を主に時代の変遷、社会要請に的確に答えてきました。

設置する仙台大学は、東北・北海道地区唯一の体育・スポーツ・健康科学系大学としてスポーツ科学を基本に 6 学科（体育学科、健康福祉学科、スポーツ栄養学科、スポーツ情報マスメディア学科、現代武道学科、子ども運動教育学科）を設置し、時代の要請に応えるとともに、建学の精神に則り、確かな技術を身に付け、自主自律の行動ができる社会に有用な人材を生み出してきました。大学附属の明成高校も実学主体の伝統を受け継ぎ 4 学科体制（スポーツ創志科、福祉未来創志科、食文化創志科、普通科）でより一層、社会の基盤を支える有用な技術を身に付け、社会の範を示す行動ができる人材を養成してきました。

II 目標と計画

<学園の全体目標>

第 1 創立 150 周年(令和 11 年)を迎える本学園(大学・高校)のさらなる発展への再創造

大学においては、時代要請を先取りしたカリキュラムの再構築をはじめ学びの在り方を見直し、高校・大学 7 年間の高大接続・連携を明確化し、選ばれる学園作りを行っていきます。

求められるガバナンスに則り効率的な組織実現を目的に、総合的見直し(業務の DX 化、業務見直し、人材育成他)に取り組んでいきます。

第2 学生・生徒の安定的確保

設置する大学、高校で学生・生徒の安定的な確保に力を注ぐこととし、行政施策の動向も踏まえ、下記の数字目標を目指し英知を発揮していきます。

- | |
|---------------------|
| 大学 入学者数：入学定員×1.15 倍 |
| 高校 入学者数：入学定員確保 |

第3 経営基盤の強化

計画的な財務運営に努め、状況変化に柔軟に即応し、経常収支差額の黒字の定着化を目標とした財務構造の安定に努めていきます。

求められるガバナンスに則り効率的な組織実現を目標に、総合的見直（業務のDX化、業務見直し、人材育成他）に取り組んでいきます。

【1】大学

基本目標

- 学生ファーストの面倒見の良い大学づくりに教職員一体となり取り組み、実学と創意工夫を身に付けた人材を養成し、高等教育機関として生き残りを目指します。
- 教育の質の保証と情報の公開に取り組むとともに、地域連携や国際交流の強化をも図りオンラインの大学を目指します。
- 大学教育の観点から高大接続改革を先導し、7年間教育という高大連携の強化を図ります。

【2】高校

基本目標

- 建学の精神に則り、高大接続・地域協働等の高校教育改革に先取的に取り組み、私学教育の特質を活かした先導的な実学教育を実現します。

【3】法人

基本目標

- 私立学校法の一部改正（令和7年4月1日施行）に基づく規定改訂、組織再構築等の諸対応に取り組めます。
- 継続可能な財務基盤の確立及び時代に則した組織・運営体制の充実を図ります。
- 適切で、効率的な業務運営を推進するためDX化、人材育成の促進を図ります。

<個別の「目標と計画」>

大 学

1. 教育研究

■ 目標

三つのポリシーに基づく幅広い教育研究活動を実施することにより、大学教育の質を保証し、多様な学生に対しきめ細やかな教育を行うとともに、高大接続・高大連携教育の充実を図っていきます。

■ 計画

(1) 学修者本位の学修の実現並びに教育の質的転換に取り組めます。

- ① 社会情勢の変化に対応した教育の質的転換を図るとともに、ICT 等を活用して学修者本位の学修の実現を目指していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 学習管理システム（「学生カルテ」）等により、学生の習熟度等のデータを把握し、成績評価・GPA などを可視化する仕組みを構築し、学生の学修状況に応じた科目履修等の学修計画にかかるアドバイス等を実施していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 機関（大学）、教育課程（学科）、授業科目のレベルごとの学修成果の達成状況及び教育改善等の状況について、データの可視化に伴い客観的な評価と教育へのフィードバックを行うことで教育の質向上を図ります 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ④ アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）に基づき、三つのポリシーの達成状況を点検・評価し、大学教育の質が担保されているか検証していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) カリキュラム改革に取り組めます。

- ① ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの一貫性を確保し、ナンバリング、カリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーを活用することにより、更に順序性のある体系的なカリキュラム改定を推進します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 社会の変化や時代の要請に応じた新たな科目を開講するとともに、既存のカリキュラムを見直し、結果として授業科目の適正配置を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ Society5.0 に求められる高度専門職に必要な知識・能力を身につけるための教養教育の見直しを検討していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(3) 教員養成の更なる強化に取り組めます。

- ① 保健体育を中心とした既存の教員免許に加え、高校の「情報」の教員免許を取得できる体制を構築し、教員養成に取り組んでいきます。 「達成時期：令和9年度中」
- ② 小学校の教員免許を取得できる体制の構築・実現化を図るとともに、小学校の教員合

格者数を増加するための方策を検討します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(4) 高大接続・高大連携教育の一層の充実を図ります。

- ① 附属高校と大学教育を踏まえた7年一貫教育により、学問を究め社会で活躍できる人材の育成を図ります。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 宮城県内外の高校との高大連携教育を推進し、目的意識を持った学生の確保に努めていきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

2. 学生支援・キャリア支援

■ 目標

建学の精神に基づく使命・目的及び教育目的を実現するため、学生の多様なニーズに応じた学修支援を行うとともに、入学後の学生の成長に必要な学修環境を整備し、学生生活の安定を図っていきます。また、そのための組織的な学修支援・キャリア支援体制の整備を行っていきます。

【主な目標指標】

- ① 中退率：1.5%以内
- ② 単位取得率：90%以上
- ③ 卒業率：95%以上
- ④ 就職希望者の就職率：100%
- ⑤ 教員採用試験合格者：60名以上
- ⑥ 公務員採用者（一般行政職、警察官、消防官等）：60名以上

■ 計画

(1) 学生生活の更なる充実を図ります。

- ① 学生への各種アンケート調査等により、積極的に学生の意見・要望をくみ上げ、学修支援・学生生活・学修環境の改善につなげていきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 多様性（ダイバーシティ）への理解促進を図るとともに、学生のニーズを踏まえたハード・ソフトの両面からの対応策を検討していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 学生一人ひとりの多様なニーズに対応するため、健康管理部門等を活用した心身に関する健康相談など、学生相談体制の一層の充実を図ります。 「達成時期：令和6年度中」
- ④ 大学生生活に対する学生の満足度を高め、退学者減少を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ⑤ 同窓会及び保護者会との連携を強化し、施設や各種制度拡充により学生生活の更なる充実を図ります。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ⑥ クラス担任や各部門が学生の思いや不安、悩みに寄り添い、大学生生活が充実したものになるよう、その体制について更に検討していきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

- ⑦ 違法薬物や特殊詐欺の被害防止など、順法精神を備えた社会の一員としての教養の育成に努めます。
「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 本学独自の給付型奨学金制度の拡充に取り組みます。

- 就学や部活動等に対して意欲を持ちながらも、経済的に困窮状態であるために就学及び生活が困難な学生に対し、同窓会と連携した本学独自の給付型奨学金制度の拡充に取り組みます。
「達成時期：令和6年度中」

(3) 部活動及び課外活動の支援の強化に取り組みます。

- ① スポーツ局を中心とした競技力向上の支援強化を図ります。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 卒業生を含めオリンピック、パラリンピック、デフリンピック選手の輩出を目指し、全学的な支援体制で取り組んでいきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 中学校部活動の地域移行を円滑に進めるため、地域との連携を強化し、学生部を中心に、学生による中学校部活動支援活動への取り組みを強化するとともに、スポーツ指導者への支援事業に取り組んでいきます。
「達成時期：令和6年度中」

(4) 大学スポーツの強化とともに、安全安心の向上に努めます。

- ① 体育施設・設備の充実を図るとともに、指導体制、指導方法の改善に努め、各種目の競技力向上を目指します。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② UNIVAS（大学スポーツ協会）の安全安心認証「SSC」を取得し、学内における安全で安心な大学スポーツ活動を実現するための環境整備を強化する体制を構築していきます。
「達成時期：令和6年度中」

(5) キャリア支援の更なる強化を図ります。

- ① 就職支援プログラムの一層の充実を図って、企業と連携して学生と企業とマッチング強化を図り、学生が目的意識を持った社会人になれるよう支援していきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 長期インターンシップを含めたキャリア教育の推進及びキャリア支援体制を拡充し、企業の現場体験の機会を増やすことにより、学生と就職先とのミスマッチを防いでいきます。
「達成時期：令和7年度中」
- ③ 教員採用試験合格者、各種公務員採用試験合格者の増加を目指した取り組みを更に拡充します。
「達成時期：計画期間を通して実施」

3. 地域貢献

■ 目標

スポーツ・健康科学面での教育研究活動の本学の持つ知見・人材を活用し、地域創生に取り組むという視点から地域連携事業を行っていきます。

【主な目標指標】

- 地方自治体及び産業界等への講師有効派遣数：専任教員数の1/3以上

■計画

(1) 市町村との一層の連携強化を行います。

- ① 中学校部活動の地域移行への積極的な支援等により、近隣市町村とより一層の連携を強化し、地域貢献の推進及び学生の実学の機会の拡充を図ります。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ② 柴田町（「未来アスリート育成」「未来先生」事業）、大河原町（3小学校との体力づくり連携事業）及び丸森町（幼児の体力向上に関する事業）等、近隣市町村における健康推進事業を行っていきます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ③ 白石市・角田市・柴田町・亶理町と連携し、スポーツ（女子硬式野球、クリケット）による地域活性化に取り組みます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 県内のプロスポーツや産業界との一層の連携強化を行います。

- 県内に拠点を置くプロスポーツチームとアカデミックパートナー協定を締結しプロスポーツを「支える」活動の充実及び産業界との一層の連携強化による学生の「実学」の拡充を図ります。

「達成時期：計画期間を通して実施」

***アカデミックパートナー：株式会社仙台 89ERS、株式会社ベガルタ仙台、株式会社楽天野球団、株式会社マイナビフットボールクラブ**

(3) 防災教育、SDGsの積極的な取り組みを行います。

- ① 「防災士」養成の取り組みを推進するとともに、国内外の大学と連携して防災意識の向上と実践力の育成を図ります。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ② 持続可能な大学を目指してSDGsの取り組みを進めるとともに、学生への意識啓発を図ります。

「達成時期：計画期間を通して実施」

(4) リカレント教育の更なる充実を図ります。

- 地域スポーツ指導者へのリスキリング講座や職業実践力育成プログラム(BP)の開講等により、部活動の地域移行や社会からの要請に応える人材育成を図るなど、社会的な課題の解決を目指して体育系大学としての役割を果たしていきます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

4. 国際交流

■目標

地域における外国人材が増加する中で、アフターコロナにおける新しい視点での国際交流の展開と学生の更なる相互理解を促進するため、国際交流を一層推進します。

【主な目標指標】

- ①海外留学生派遣数年間 40 名以上
- ②海外留学生受入数年間 50 名以上

■計画

(1) 学生の海外派遣(留学)の一層の充実及び海外からの留学生受け入れの強化を行っていきます。

- ① 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の補助金を活用した学生の海外派遣(留学)の一層の強化を図ります。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ② 海外からの本学への留学生数を増やすための方策について検討を進めます。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ③ オンラインを活用した国際交流プログラムの実現を目指します。
「達成時期:計画期間を通して実施」

5. 学生募集

■目標

本学の個性・特色と魅力ある大学づくりを進め、18 歳人口減下での学生募集にあたりアドミッション・ポリシーに合致した志願者を安定して確保することを目指し、一体的な広報戦略を構築していきます。

【主な目標指標】

○入学者数:入学定員×1.15 倍

■計画

(1) 学生募集の強化を行っていきます。

- ① ホームページの定期的な更新を行い、高校生他多様なステークホルダーに対してわかりやすい情報発信を推進します。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ② 魅力的な大学案内の制作及び内容の充実を図ります。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ③ オープンキャンパス等、大学を紹介する内容の充実を図り、多くの参加者が本学を知る機会を得るよう努めます。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ④ 本学との連携校を増やすとともに、高校訪問、大学見学の積極的な受入れ、高校内説明会への積極的な参加等を行い、高校との信頼関係強化を図ります。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ⑤ 同窓生教員とのネットワークを強化し、特に関東以北の高校からの進学者を増やしていきます。
「達成時期:計画期間を通して実施」
- ⑥ 施設の改修や文化的サークルの拡充を図るなど、女子学生数増を目指した取り組みを進めます。
「達成時期:計画期間を通して実施」

(2) 大学院の定員充足に向けた取り組みを行っていきます。

- ① 大学院教育の魅力を広く周知し、現役学生の内部進学数を増やします。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ② 協定を結んでいる海外の大学との交流を促進し、留学生増を図ります。

「達成時期：計画期間を通して実施」

(3) 広報活動の強化を行っていきます。

- ① 同窓会等とも連携し、全学を挙げた積極的な広報戦略を構築し、本学の情報発信に努めます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ② SNS を活用した効果的な広報活動に取り組みます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

- ③ スポーツ施設へのネーミングライツなど、体育系大学である本学の特色を生かした広報活動に努めます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

6. 研究費等の外部資金獲得促進

■目標

共同研究、共同事業及び寄附講座の開講等の積極的な展開により、科学研究費及び受託研究等の外部資金を積極的に獲得し、研究活動の活性化を図ります。

【主な目標指標】

- ①科学研究費新規採択率 40%以上
②私立大学等改革総合支援事業タイプ1及びタイプ3の採択

■計画

(1) 外部資金の獲得に向けた積極的な取り組みを行います。

- 外部資金や競争的資金の積極的獲得を図るための支援体制を強化し、科学研究費等の外部資金の獲得促進を図っていきます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

高等学校

1 学科教育

■目標

各学科の特色を生かした教育により、実社会で生きて働く知・徳・体を身につけさせ、たゆみなく自己研鑽に努めながら健康で豊かな社会の実現に貢献する人間を育成します。

【主な目標指標】

- 中退率：3%以内

■計画

(1) 学力向上に向けた授業改善の取組を推進します。

- ① 生徒自身が成長を実感できる授業を目指し、「指導と評価の一体化」と「観点別評価」を関連づけた一貫性のある取組を進めてまいります。 「達成時期：令和6年度中」
- ② 本校教員のスキルアップを目指し、校内研修を充実させます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 免許取得のさらなる強化に取り組めます。

- ① 国家資格「介護福祉士」合格100%を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 調理師免許の取得のみならず、次代が求める質の高い食産業人材の育成を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 情報科・家庭科（保育）関連の検定取得に向けた取組を強化します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(3) ICT機器を活用した教育活動に取り組めます。

- ① 専門的な幅広い知識と情報を獲得・伝達する手段としてICT機器を活用した授業に取り組めます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② スポーツの「する・みる・知る・支える」について、身近な学習ツールとして多種多様なアプリを活用し普段の健康管理や探究的な学びに生かします。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 会議資料等をデジタル化するなどペーパーレス化を推進します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(4) 学科間連携に取り組めます。

- 在籍する学科の学習に加え、他学科との連携授業に取り組み、互いの特長を知ることを通して学習意欲のさらなる向上を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(5) カリキュラム改革に取り組めます。

- 「進路実現」「教科横断」「ICT」をキーワードとしたカリキュラムに取り組み、生徒のニーズに応えます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

2 生徒募集

■目標

本校の特色を生かし、充実した高校生活を送ることが出来る魅力ある学校づくりを進め、定員確保に向けた広報活動を推進します。

【主な目標指標】

- 入学者数：入学定員確保

■計画

(1) 定員確保に向けた取組を強化します。

- ① 中学生対象の専門学科の特色を生かした出前授業や、本校を会場とした体験授業の機会を増やします。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② オープンスクールや学校説明会等、本校の特色を紹介する機会を生かし多くの参加者が魅力を感じる場面を多く創出します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 本校教職員が県内の全中学校を訪問し、本校の魅力を発信します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ④ 本校及び仙台大学の卒業生が教員として勤務する学校と連携し、進学者増を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 広報活動を強化します。

- ① ホームページの定期的な更新、SNS を活用した魅力的な情報発信に取り組みます 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 地域協働学習や、在仙のプロスポーツクラブとの連携事業の機会を活用し、特色ある専門学科の魅力を発信します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

3 大学との連携

■目標

仙台大学の附属高校としての特色を生かし、大学教員の専門的知識を活用した授業を展開するなど、高大接続教育の先取的取組を推進します。

【主な目標指標】

○内部進学者数：3年在籍者数×30%以上

■計画

(1) 高大連携による授業を構想・実践し、専門学科教育の充実を図ります。

- ① 仙台大学より教員を招いて授業を展開し、専門科目及び「総合的な探究の時間」の充実を図ります。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 仙台大学と本校の教員が協働で授業を実践することで互いの授業改善につなげます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 本校と仙台大学を通じた7年間の一貫教育により、専門知識を備えた社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 食文化創志科においては調理師養成学科から栄養士養成学科への進学を通して、高大協働で新たな食産業人材の育成に努めます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② スポーツ創志科においては授業に加え、部活動において仙台大学との連携を深め、専門的な指導によって技術の向上を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

(3) 目的意識を持った仙台大学への進学者を育成します。

- ① 7年間の一貫教育の特長を生かし、社会的な役割を意識した学習に取り組む生徒を育成し、在籍の30%の内部進学者を目指します。 「達成時期：計画期間を通して実施」

- ② 川平キャンパスで開催される研修会や授業に加え、仙台大学で展開される各種の授業をオンラインで受講できるよう工夫します。 「達成時期：令和6年度中」

4 地域連携・国際教育

■目標

スポーツ・福祉・食文化それぞれの分野における本校の強みを生かし、地域に根ざした教育を展開することで、「持続可能な社会づくり」を目指します。

■計画

(1) 地域自治体との連携を強化します。

- ① 川平地区・桜ヶ丘地区及び地域包括センターと連携・展開する福祉事業の取組をさらに推進します。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 大郷町や塩竈市との官学連携や地域協働による「食の学び活動」を推進し、地域の食生活の向上と持続可能な社会づくりに貢献します。「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 県内体育科との連携に取り組みます。

- 宮城県利府高等学校・宮城県柴田高等学校に設置されている体育科と連携し、川平KMCH施設の有効活用をはじめ、共同での授業研究に取り組みます。

「達成時期：令和6年度中」

(3) 姉妹校との交流を推進します。

- 姉妹校提携を結んだ韓国「光州自然科学高等学校・調理科学科」との交流を通し、専門科目の教材化に取り組みます。 「達成時期：計画期間を通して実施」

法 人

■目標

安定した継続可能な財務基盤構築を主眼とし、時代要請に応えたガバナンス改革を重視した職場づくりを行っていきます。次なる時代の飛躍のため組織、人、業務（DX化）の全体的見直し再構築に取り組んでいきます。

■計画

(1) ガバナンス改革を推進します。

- ① 平成7年4月からの私立学校法改正施行に合わせ寄附行為をはじめとした関係規程を適切に整備していきます。 「達成時期：令和6年度中」
- ② 法改正の趣旨に沿った体制を整備していきます。

「達成時期：計画期間を通して実施」

(2) 安定した継続可能な財務基盤を構築していきます。

- ① 計画的財務運営により経常収支差額の黒字化、経常化を図っていきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 常に貸借対照表「運用資産－外部負債>0」を目途に取り組んでいきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ③ 収支・支出の個別項目の金額妥当性を検証し適正化を図っていきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」

(3) 活力があり働き甲斐のある職場を構築していきます。

- ① 多様な仕事に応じることができる柔軟な人材育成を行っていきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 働きに応じた評価体制の検討を行なっていきます。 「達成時期：令和8年度中」
- ③ 内部統制の精度を高めるため仕事に応じた責任の明確化を図っていきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」

(4) 人材の育成・登用を図っていきます。

- ① 若手人材の定期的採用を行っていきます。 「達成時期：計画期間を通して実施」
- ② 企画、総務、財務、システム等の専門人材を計画的に育成していきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」

(5) 業務の効率化、DX化を図っていきます。

- ① 教務、会計、稟議、人事等の関連業務の効率化、システム化を検討していきます。
「達成時期：令和8年度中」
- ② 業務プロセスの明文化を図り、業務検証、業務引継ぎの円滑化を実現していきます
「達成時期：令和8年度中」

(6) 危機管理対応の強化

- マニュアルの整備や適時の訓練を実施し、自然災害や事件・事故などへの実効性ある対応を行っていきます。
「達成時期：計画期間を通して実施」

Ⅲ 財務の見通し

- (1) 別添する資料1「中期経営計画（財務）」、資料2「事業活動収支見込」、資料3「資金収支見込」、資料4「主な投資（建物、施設等）一覧」のとおりです。
- (2) 「第Ⅱ期中期経営計画」より資料3「資金収支見込」を加えております。

Ⅳ 進捗管理

- (1) 年度終了後部門毎に進捗P.D.C.A.を実施し、その結果を法人が取りまとめ理事会・評議員会へ報告を行います。

- (2) 本計画の内容が時代の要請等により変更する必要がある場合は、躊躇なく変更を行うものとしします。
- (3) 本計画ならびに進捗について、ホームページ上での情報公開を実施していきます。

以 上

中期経営計画（財務）

1. 留意事項

- (1)経常収支差額は、令和6年度において臨時的支出（陸上競技場3種公認および関連工事41百万円, 仙台大学附属明成高校旧校舎解体工事費157百万円, 旧校舎解体に伴う資産処分差額168百万円等）により赤字を計上するものの令和7年度～令和10年度は黒字計上見込みであります。
- (2)学生・生徒数は、教育の質の向上、実践教育の対外周知、内外提携校の推進、附属高校からの内部進学への推進（目標：3年在籍者数の30%）等の諸施策実践による推計にて試算を行っています。
- (3)諸物価高騰の中、教育環境の充実に資するため学費等の見直しを令和7年度に予定しております。
- (4)投資項目は、スポーツ・教育環境の向上、経費削減につながるものを主として計画を行ってまいります。
- (5)固定的支出項目についても聖域なき削減を行ってまいります。
- (6)仙台大学創立60周年記念として第一体育館改築の検討に取り組めます。

2. 学生・生徒数推移見込み

<大学・学生数>

(単位：人)

	R6	R7	R8	R9	R10
1年	640	680	690	695	705
2年	651	611	651	661	675
3年	618	631	598	637	647
4年	624	616	629	610	648
院1年	23	23	23	23	23
院2年	14	15	15	15	15
計	2,570	2,576	2,606	2,641	2,713

<高校・生徒数>

(単位：人)

	R6	R7	R8	R9	R10
1年	240	280	300	300	310
2年	230	235	275	295	295
3年	268	229	232	272	292
計	738	744	807	867	897

事業活動収支見込

(収入の部)						(支出の部)						単位：百万円
大 科 目	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	大 科 目	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	
学 納 金	3,666	3,719	3,821	3,923	4,057	人 件 費	2,688	2,728	2,863	2,844	2,902	
手 数 料	38	39	39	39	39	教 育 研 究 費	1,701	1,610	1,634	1,618	1,653	
寄 付 金	2	2	2	2	2	管 理 経 費	613	461	465	457	454	
経常費等補助金	958	959	963	965	965	徴 収 不 能 額 等	0	0	0	0	0	
付 随 事 業 収 入	75	75	76	76	76							
雑 収 入	52	60	123	87	111							
教育活動収入計	4,791	4,854	5,024	5,092	5,250	教育活動支出計	5,002	4,799	4,962	4,919	5,009	
						教育活動収支差額	-211	55	62	173	241	
受取利息・配当金	1	1	1	1	1	借 入 金 等 利 息	12	11	10	10	9	
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
教育活動外収入計	1	1	1	1	1	教育活動外支出計	12	11	10	10	9	
						教育活動外収支差額	-11	-10	-9	-9	-8	
						経常収支差額	-222	45	53	164	233	
資 産 売 却 差 額	0	0	0	0	0	資 産 処 分 差 額	168	0	0	0	0	
その他の特別収入	0	0	0	0	0	その他の特別支出	0	0	0	0	0	
特別収入計	0	0	0	0	0	特別支出計	168	0	0	0	0	
						特別収支差額	-168	0	0	0	0	
						基本金組入前 当年度収支差額	-390	45	53	164	233	
						基本金組入額合計	0	0	0	0	0	
						当年度収支差額	-390	45	53	164	233	
						前年度繰越収支差額	-7,415	-7,805	-7,760	-7,707	-7,543	
						基本金取崩額	0	0	0	0	0	
						翌年度繰越収支差額	-7,805	-7,760	-7,707	-7,543	-7,310	
						事業活動収入計	4,792	4,855	5,025	5,093	5,251	
						事業活動支出計	5,182	4,810	4,972	4,929	5,018	

資金収支見込

(収入の部)						(支出の部)					単位：百万円	
大科目	R6	R7	R8	R9	R10	大科目	R6	R7	R8	R9	R10	
学納金収入	3,666	3,719	3,820	3,923	4,057	人件費支出	2,663	2,704	2,847	2,824	2,897	
手数料収入	38	39	39	39	39	教育研究費支出	1,142	1,062	1,099	1,102	1,166	
寄付金収入	2	2	2	2	2	管理経費支出	546	400	409	403	402	
補助金収入	958	960	963	965	965	借入金利息支出	12	11	10	9	9	
資産売却収入	0	0	0	0	0	借入金返済支出	144	144	139	139	138	
付随事業・収益事業収入	75	75	76	76	76	施設関係支出	37	20	126	179	0	
受取利息・配当金収入	1	1	1	1	1	設備関係支出	93	115	95	17	116	
雑収入	50	60	123	87	111	資産運用支出	133	133	133	133	133	
前受金収入	749	751	752	751	752	その他の支出	108	99	100	100	99	
その他の収入	261	80	89	152	116	支出調整勘定	-43	-50	-41	-32	-32	
収入調整勘定	-757	-797	-863	-828	-852							
収入合計	5,043	4,890	5,002	5,168	5,267	支出合計	4,835	4,638	4,917	4,874	4,928	
借入金	0	0	0	0	0							
年度末 残高	第2号基本金引当特定資産	0	0	0	0	0	収支差額	208	252	85	294	339
	第3号基本金引当特定資産	115	120	125	130	135	前年度繰越資金	990	1,198	1,450	1,535	1,829
	退職給与引当特定資産	1,008	1,036	1,064	1,092	1,120	翌年度繰越資金	1,198	1,450	1,535	1,829	2,168
	減価償却引当特定資産	1,217	1,317	1,417	1,517	1,617						
	<各種引当特定資産 計>	2,340	2,473	2,606	2,739	2,872						
	借入金	2,112	1,969	1,829	1,691	1,552						

主な投資（建物、施設等）一覧（案）

（単位：百万円）

		部門	金額	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	備考
1	LED化工事（3体、A棟、D棟）	大学	16						SDGs対応
2	LED化工事（B棟、C棟、F棟）	大学	17						SDGs対応
3	LED化工事（E棟等）	大学	8						SDGs対応
4	LED化工事（KMCH, サッカーグラウンド）	大学	22						SDGs対応
5	LED化工事（屋外多目的練習場）	大学	3						SDGs対応
6	LED化工事（4体、5体）	大学	14						SDGs対応
7	陸上競技場3種公認および関連工事	大学	41						5年毎
8	トレセン施設リニューアル工事	大学	150						スポーツ環境向上
9	空調工事（B棟）	大学	25						省エネ・教育環境向上
10	空調工事（C棟）	大学	25						省エネ・教育環境向上
11	空調工事（A棟）	大学	98						省エネ・教育環境向上
12	教室内の投影設備および音響設備	大学	110						教育環境向上
13	3体大型ビジョン更新	大学	28						教育環境向上
14	サッカー場人工芝張替	大学	80						スポーツ環境向上
15	明仙バスケラボ床張替え工事	高校	26						スポーツ環境向上
16	車両購入（バス等6台）	大学・高校	56						教育安全向上
17	仙台大学附属明成高校解体工事	高校	157						新教育エリア確保
計			843	—					
第一体育館改築検討			—						大学60周年記念